

執筆要領

1. 原稿の長さ

20,000字以内とする。ただし、字数には表題・図表・注・文献リストを含むが、英文要約 (Abstract) は含まない。

2. 書式

原稿の書式は以下のルールに従うこと。

(1) 書式設定

- ① 用紙サイズ：A4判
- ② ページ設定：1ページ40字×30行の横書き一段
- ③ ページ番号：各ページの下部中央に、通し番号を半角数字でつける。
- ④ フォント：サイズは10.5ptとし、和文は明朝系フォント、英文はTimesまたはTimes New Romanを使用する。

(2) 全体の構成

- ① 表題
- ② 執筆者の氏名・所属・連絡先
- ③ 本文および脚注
- ④ 引用文献
- ⑤ 図表
- ⑥ 英文タイトル、英文要約および英語キーワード の順序で構成する。

(3) 提出形式

本文・図表とも白黒印刷に適應できるデータで作成することとし、図表を本文に挿入する場合は、本文に挿入箇所を明記の上、図表データ (Excel等) のファイルを別途添付する。

3. 表題

フォントサイズは16pt程度とし、中央揃えにする。

4. 執筆者の氏名・所属・連絡先

- (1) 執筆者の氏名は、フォントサイズを12pt程度とし、中央揃えにする。
- (2) 執筆者の所属と連絡先は、著者名の右肩に*、**、…の記号をつけ、原稿の第1ページの下部に脚注として所属と連絡先 (住所・電子メールアドレスなど) を明記する。大学院生の場合は○○大学大学院○○研究科○○課程在籍と記入する。フォントサイズは脚注と同じとする。

5. 本文

- (1) 節、項
半角数字を用いて、「1.」「1.1」「1.1.1」のように記入する。
- (2) 英数字
半角文字を用いる。
- (3) 句読点
「、」「。」「()」「=」などの記号類は全角文字を用いる。
- (4) 年号
原則として西暦を用いる。元号を使用する場合には、西暦の後ろに括弧書きにて添える。
(例) 2003年 (平成15年)
- (5) 外国名
和文表記が通常用いられている場合は、「和文表記 (英文表記：略称)」とする。
和文表記が無い場合は、「英文表記 (略称)」とする。
(例) 北海道大学公共政策大学院 (Hokkaido University Public Policy School : HOPS)

(6) 数式

独立した数式には、式の末尾に数式番号を振る。括弧の順序は、[{ () }]とする。

(例) $C = a + b\{Y(K, L) - T\}$ (1)

(7) 脚注

脚注番号は、本文該当箇所の右肩に「1)、2)」のように片括弧・半角数字によって通し番号で付ける。

脚注は、フォントサイズを10pt程度とし、各ページの最後に記載する。

6. 図表・写真

(1) 図表・写真は、執筆者の責任において電子形態で作成し、オリジナルおよび仕上がり寸法大のコピーも原稿とともに提出する。

(2) 図表・写真は、大きさに応じて1/4ページ大(400字相当)、1/2ページ大(800字相当)と字数換算する。

(3) 写真は図として取り扱い、図および写真には図1(英文の場合 Fig. 1)、表には表1(英文の場合 Table 1)のように通し番号を入れる。

(4) 他の著作物からコピーした図表の転載は、原則として受理しない。

(5) 文字の大きさ、説明記号の大きさ、線の太さなど、刷り上がりサイズでの見やすさに配慮して図を作成すること。電子メールによる提出の場合、PDFファイルに変換して文字化けを起こしたりしていないか確認して提出すること。

(6) 図の番号とタイトル、および説明文を図の下部に書く。

(例)

〈図〉

図1 国内総生産(GDP)の推移

(出典) 内閣府経済社会総合研究所編『国民経済計算報告平成14年版』

(注1) 季節調整済み

(7) 表の番号とタイトルを表の上部に、説明文を表の下部に書く。

(例)

表1 日本の…の動向

〈表〉

(出典) ○○研究所『…』

7. 文献引用

(1) 本文中に他の文献から引用した場合、引用文献の「著者名(刊行年)、ページ」を表記し、参考文献に列記する。

(例1) 脚注を用いる場合: 〈本文〉…³⁾。〈脚注〉3) 佐藤(2000a)、pp.2-10

(例2) 本文に記す場合: 〈本文〉…(佐藤(2000a)、pp.2-10)。

(2) 文献リストは、著者名(アルファベット順か五十音順)、出版・発行年、論文名、書名・雑誌名、出版社名、巻号、所在ページの順で記載する。

(3) 和文文献は、書名・雑誌名を『』で、論文名を「」でくくる。欧文書名・雑誌名はイタリック体にする。

(4) 同じ著者のものは年代順に並べる。同じ著者の同一年代のものは、引用順にa、b、c…を付して並べる。また、同一著者の複数の文献を記載するときは、2つめ以降の表示には、氏名の代わりに、————(4倍ダッシュ)を用いる。2行以上になる場合は、2行目以降は一文字下げる。

(5) 写真、図表を他の文献から引用、転載する場合は、著者自身が事前に著作権者から許可を得るものとする。本誌はそれについては責任を負わない。

8. 英文要約および英語キーワード

(1) 英文要約は、フォントサイズを10pt程度とし、長さは100語以内とする。

(2) 英語のキーワードは、要約の末尾に5語以内で列記する。